

活動の原点は「みなさんの声」

みなさんにお約束した政策（公約）と寄せられた要望を元に質問。他の議員の協力や町執行部の努力もあって、一步一步、実現しています。

🌸 高校卒業まで、子ども医療費「完全無料」に

2018年6月、2019年6月・12月議会で提案。2018年には財政状況から困難という答えでしたが、2019年12月では「子育て支援拡充策の選択肢の一つとして検討する」と前向きな答弁に。

2020年4月から高校卒業まで医療費無料になりました。



🌸 「病後児」保育施設の創設

子どもが病気の時、保護者以外の方が責任をもって預かってくれる場所があれば安心して子育てできると考え、2017年9月、2018年3月、9月議会で質問。開設されることになりました。

また2016年3月議会で要望していた、産後母子デイケア事業が2019年にはじまりました。

🌸 車をもたない人にも安心できる交通手段を

町民の方から「3~4人で1台のタクシーを利用して買い物に行く。それに町から補助が出るというような買い物タクシーがあれば」との要望があり、2016年9月議会で提案。

2021年10月から木部地区で「乗合タクシー」の実証実験が始まっています。

ほかにも

- ・木部、津和野小学校のプールや老朽化した給食センターの改修
- ・決壊が心配される「ため池」の行政による管理・改修を提案。一つは撤去されました
- ・防災士資格の研修費・手数料、半額補助から全額補助に

**困りごと、何でもご相談ください。
と一緒に解決の糸口をさがしましょう。**

引っ込み思案の小学生だったけど タレントオーディションに応募

小学生の頃は引っ込み思案でしたが、高学年になって児童会の役員になり、みんなの役に立つことが楽しくなりました。

中学校でも生徒会で活動。高校時代はアイドルにあこがれタレントオーディションを受けるほど活動的になりました。



大学進学で島根へ

高校生のとき、学校の先生になりたいと決意し島根大学教育学部に進学。軟式テニス部に所属しテニスに打ち込みました。大学卒業後岡山で、1年間高校の体育講師をしたのち、大学時代テニス部で知り合った夫と結婚しました。

「共産党嫌い」から、誤解が解けて入党

身近な人から「自分は共産党員だ」と告げられた時、もともと共産党アレルギーがあった私は「いやだなあ」と思いました。

しかし、無償のはずの義務教育に多額の出費が必要など、幾つも社会の矛盾を感じていました。党の活動を見ているうちに「共産党は筋が通っているし、弱い立場の人のことを常に考えている。誤解していた」と思うようになりました。「共産党に入らないか」と言われ、すぐ入党しました。



略歴 1962年岡山県岡山市生まれ。島根大学教育学部卒業後、結婚し津和野町へ。現在、津和野町富田在住。家族は夫と二男一女。これまで小学校の支援員や宅急便サービスドライバー、生命保険会社などに勤務。2014年から津和野町議会議員、現在2期目。